

NEXCO 東日本によるインドを中心とした取り組み

東日本高速道路株式会社 技術部 海外事業チーム

はじめに

NEXCO 東日本では、これまで国際機関への派遣や研修の受け入れなどを通じた国際協力や国際交流を中心に進めてきたが、現在はこれまで培ってきた技術やノウハウを活かした海外事業にも積極的に挑戦している。今後は、更なる事業推進に向けた体制強化を図り、海外業務においても NEXCO 東日本グループ全体として、グループ各社が持つ強みを活かしながら海外における高速道路整備に貢献していく。

コンサルティング業務への参画

高速道路に関わる総合的な技術やノウハウをリソース（資源）として、海外の高速道路の整備に貢献し、安定的・継続的なコンサルティング業務の獲得・実施を行ってきた。その最初のステップの代表的な事例として、アルジェリア東西高速道路建設工事への設計技術協力があげられる。

その後引続いてヴェトナム南部高速道路に係る詳細設計やインドーハイデラバード外環道路に係る ITS 導入支援調査、パキスタンーインダスハイウェイ交通管制基本設計業務やスリランカ高速道路料金所設計業務、またマレーシアやタイの ITS 現況調査など、アジアを中心としたコンサルタント業務に取り組んできた。

今回はその中でも、現在グループ会社と協働で精力的に取り組んでいる、インドーハイデラバードにおける業務について以下に紹介する。

【インドーハイデラバード外環道路 ITS 導入支援調査】

現在当社が JICA(国際協力機構)より受注し、インドにおいて実施している、「インド国ハイデラバード外環道路建設事業 ITS 導入支援プロジェクト」は、平成22年2月に当社及び他2社との3社JVにより受注したコンサルタント業務であり、主な内容はハイデラバード市域を取り囲むように建設されている外環道路に対する、ETC を含む料金徴収施設や交通管制センターを含む情報提供施設といった、ITS 関連の導入支援調査である。



図1 ハイデラバード位置図



ハイデラバード市街の様子

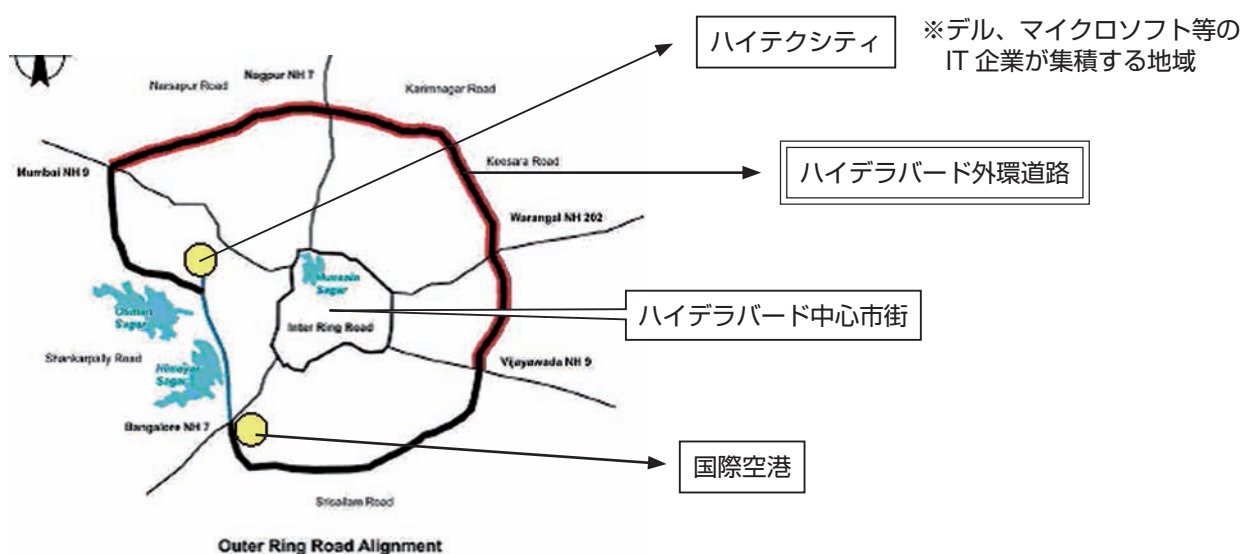


図2 ハイデラバード外環道路

ハイデラバードは、アンドラプラデシュ州の州都としてインド中央のデカン高原に位置し、インド6大都市のひとつに数えられている。近年、IT産業の拠点や観光地として急速に発展しているハイデラバードは、深刻化する交通渋滞が大きな課題となっている。ハイデラバード外環道路は、“ハイデラバード国際空港”からIT産業が集積する“ハイテクシティ”を結ぶ区間を含む全長約158kmの外環道路で、急速な都市化に直面しているハイデラバードにおいて今後の発展に寄与する社会基盤として期待されている。これまでJICAは外環道路北部区間の建設事業や全区間のITS導入について円借款による支援をしてきた。

当社はこのITS導入に関してJICAから発注された一連の調査業務を2008年から受注してきており、その中で将来のネットワーク化を見据えて対距離料金徴収を可能とするETCをはじめとした料金施設の発注図書作成、運用開始後の料金徴収体制の策定から料金所職員訓練、また管制センターや道路交通情報提供施設に関する発注支援や運用体制の作成などの業務などを担当している。

本業務の実施に際しては、その特性から、当社社員のほかに、ネクスコ東日本エンジニアリング、ネクスコ・トール関東も加わり、NEXCO東日本グループが有する高速道路の管理運営マネジメント力の結集により行われている業務といえる。

2 インドにおける事業展開

前記コンサルティング業務に加えて、現在ネクスコ東日本では、海外における高速道路の管理運営事業への参加を目指して必要な検討を進めている。

これらに関する大きな取り組みの一つとして、事業展開の足がかりとなるべく、インドーデリー近郊における駐在員事務所の設置に着手している。現時点においては、インド当局への許可申請手続き中で、夏までには本格的に業務を始動できると見込んでいる。

現在インドにおける道路整備は目覚しく発展しているが、高速道路整備はまさにこれからといったところで、インド国内からは海外の資金力や技術力を呼び込もうと大臣クラスの誘致活動が盛んに行われるなど、様々な試みが行われている。インドの更なる発展のためには、高規格道路の整備は必須として、インド政府も力を入れてきている。このような情勢に鑑み、日本政府も、日本企業のインド進出に力を入れており、PPP（官民パートナーシップ）など、民間資金を活用したプロジェクトへの移行や更にその民間資金を調達する際の政府保証の活用なども検討されるなど、日本企業の海外への進出を積極的に図ろうと様々な試みがなされてきている。

このような中、当社は今後早期に設立されるインド事務所を中心として、日本政府や他の日本企業とも協力しながらインドを主としてアジア中心とした地域における

高速道路の管理運営事業に参画していくための準備を進めている。

3 国際協力／国際交流

国際協力や国際交流活動は、これまで同様当社の海外事業の主たる業務である。今後もこれらの活動を継続し、国際的に信頼される企業を目指すとともに、活動を通じて、企業価値の向上・人材の育成・組織の活性化につなげていく。

現在、NEXCO 東日本から3名の JICA 長期専門家を派遣している。インド、パキスタン、スリランカにそれぞれ1名派遣しており、過去にもこれらの南アジアや東南アジアの国々を中心に多くの派遣実績を有している。

おわりに

NEXCO 東日本は、これまでも JICA 専門家派遣や海外技術協力としての海外事業を実施し、海外派遣者だけでも既に20ヶ国以上の国々に対し、数十名に上る。昨年4月の海外事業チームの立ち上げをステップに、海外に

おいても『あなたに、ベスト・ウェイ』“Best Way to Your Country ~ from NEXCO - East ~”の実現を目指して、当社の高速道路整備に関する総合的な技術力や高速道路に係る問題解決能力を提供し、当該国にとっての最善の高速道路づくりに貢献し、国際社会から信頼される企業を目指していく。



派遣専門家を交えたインド高速道路技術委員会における高速道路設計基準の議論



インド交通省ナート大臣との会談